



こんにちは。1月中旬からの一カ月は志摩にとっては最閑散期となります。恒例となっている志摩スペイン村の休園（1/13～2/13）などに加え、合わせるようにこの時期にメンテナンスなどで休業期間を設けられていたり、大型遊覧船もドック入りしたりと、市内はとても寂しくなります。今年はNEMU RESORTのリニューアルによる長期休業もあり、余計に閑散感が増していた気がしています。そんな中、近鉄の特急の利用実績がスペイン村が休園している1/13以降も二割増しの状況であったとのことでした（まわりゃんせも発売休止中であるにも関わらず...です）。協会にもお問い合わせをいただいておりますが、考えられる事としては万博で凹んだ需要の戻りが思った以上に早く来ているのではということです。複数の宿泊施設からこのような声を受けており、前にも書きましたが、「万博のついで」ではなく「万博の次は」という訴求効果が表れているものと思われます。ある施設では、リピーターさんは「今年は万博」で飛ばされたが、早くも帰って来てくれたと言われていました。

今年の旧暦のお正月は2/17でいつもより遅めになっており、スペイン村も再開して賑わいが戻ってきてからとなるので、それに合わせて宿泊施設も再開してインバウンドの需要も取り込めれば・・・となっていればいいのですが、台湾有事発言の影響で中国からの来訪が落ち込んでおり、何とタイミングの悪いことかと残念に思っておりますが、実際のところはどうでしょうか？

またこの冬は大寒波の襲来も続き、道路の予防的通行止めにより関西、中部からの高速および国道が寸断されたことで伊勢志摩にアプローチできなくなる状況が起こっており、影響を受けられた施設もあった事と思います。（そんな中でも近鉄は平常運転でした！）。

2/14から志摩スペイン村も再開していますので、早く暖くなって志摩にまた賑わいが戻ってくることを期待したいと思います。

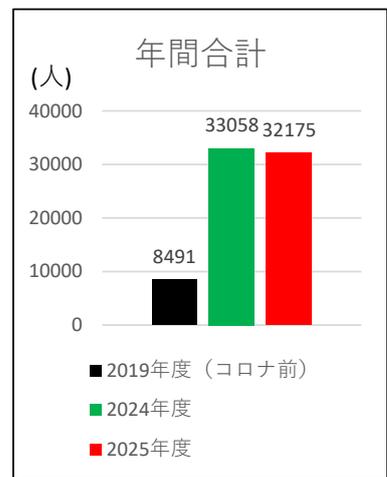
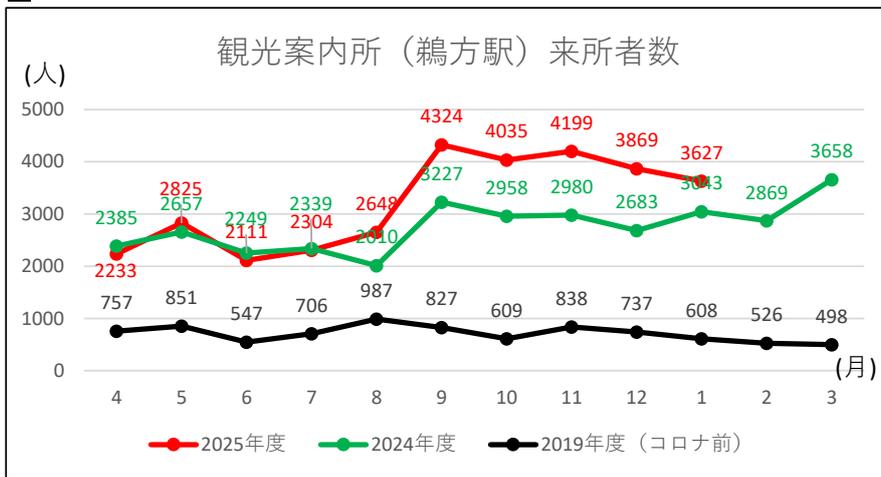


2月9日（月）11時頃のの名阪国道伊賀パーキングエリア付近（側道から撮影）

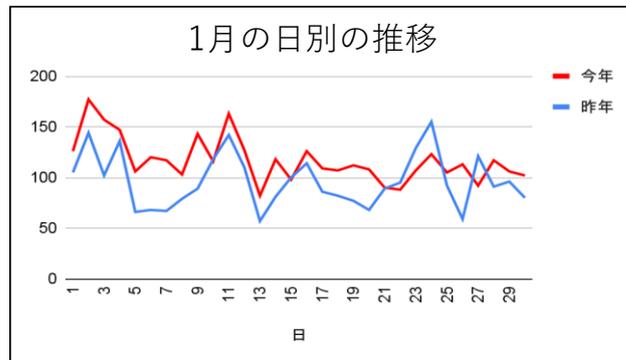
路面に雪はなく気温もプラスに上がっていましたが通行止めが続き、周辺道路は大渋滞でした...

【観光案内所（鵜方駅）来所者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(人)
2025年度	2,233	2,825	2,111	2,304	2,648	4,324	4,035	4,199	3,869	3,627	0	0	32,175
2024年度	2,385	2,657	2,249	2,339	2,010	3,227	2,958	2,980	2,683	3,043	2,869	3,658	33,058
2019年度	757	851	547	706	987	827	609	838	737	608	526	498	8,491

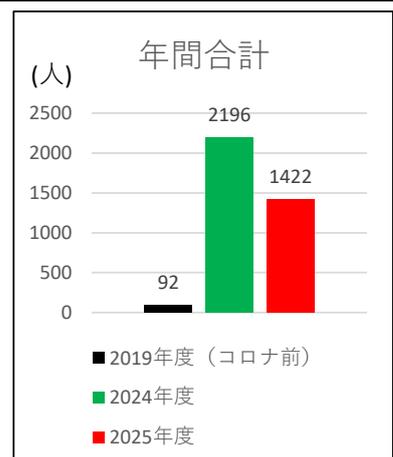
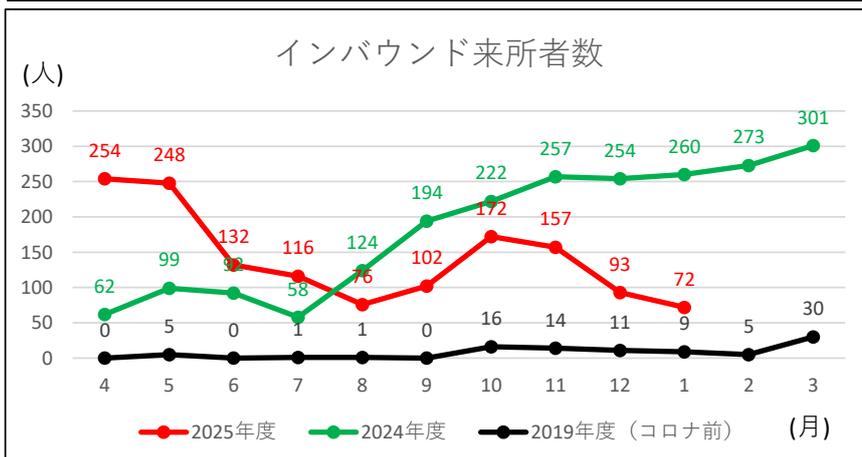


1月の来所者数は12月から▲242人の減少でした。志摩スペイン村が1/13から冬季休園に入ったことによるものですが、横山VIEWタクシーが引き続き好調であったことで引き続き前年を約600名上回る水準を維持しました。前年について12月より増加していたのはマンホールカードの配布開始直後であったことで、それを目当てにした来所者で連日賑わっていたためです。2月は志摩スペイン村が2/14から再開することで賑わいが戻るものと期待していたところですが、再開当初は新しいイベントやアトラクションはない静かなスタートとなったため、現状はそれほどでもありません。（ハビエル城博物館リニューアルは4/18、新アトラクションは7/14スタートです）

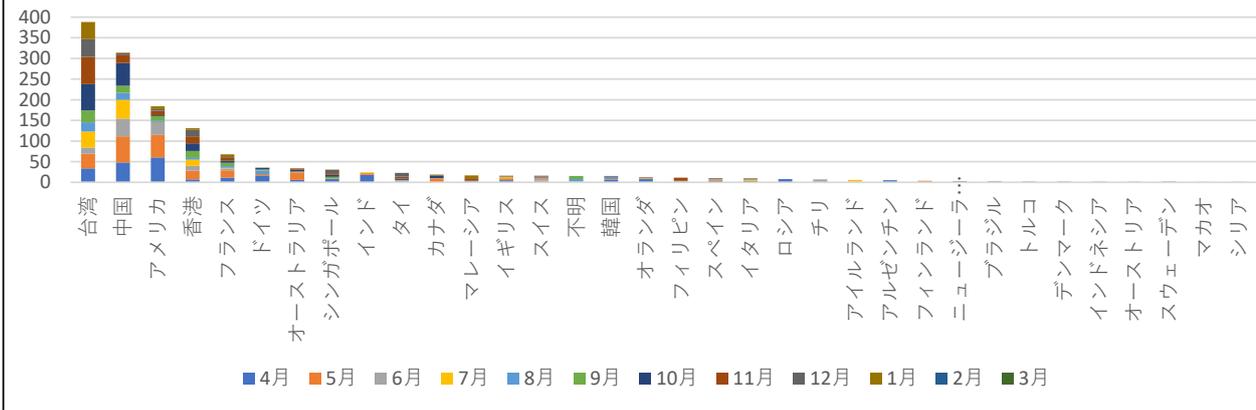


※うちインバウンドの来所者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(人)
2025年度	254	248	132	116	76	102	172	157	93	72	0	0	1,422
2024年度	62	99	92	58	124	194	222	257	254	260	273	301	2196
2019年度	0	5	0	1	1	0	16	14	11	9	5	30	92



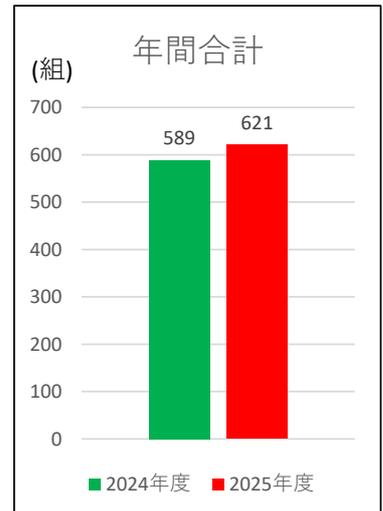
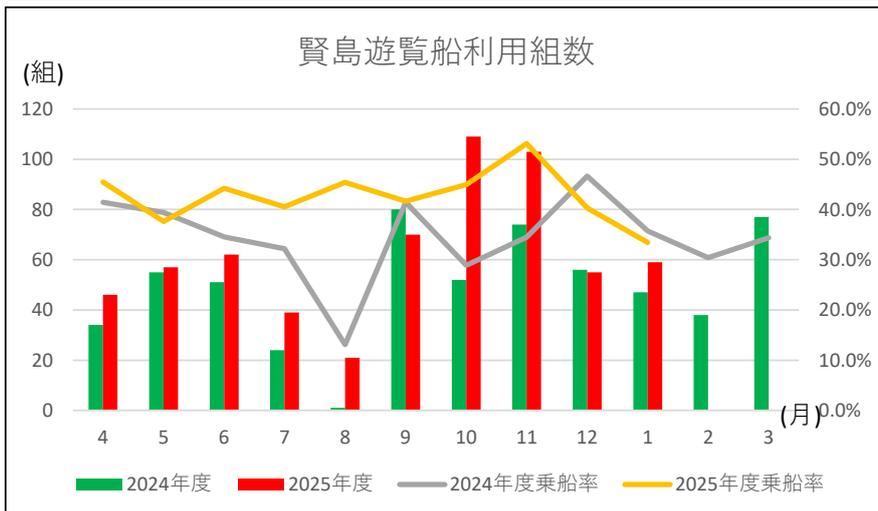
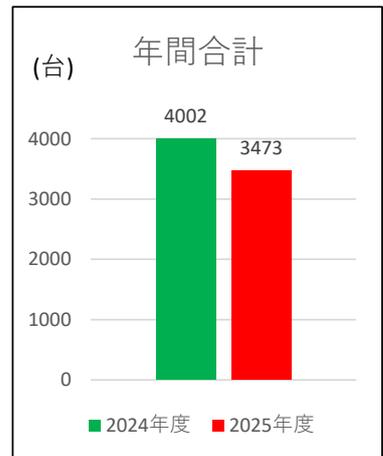
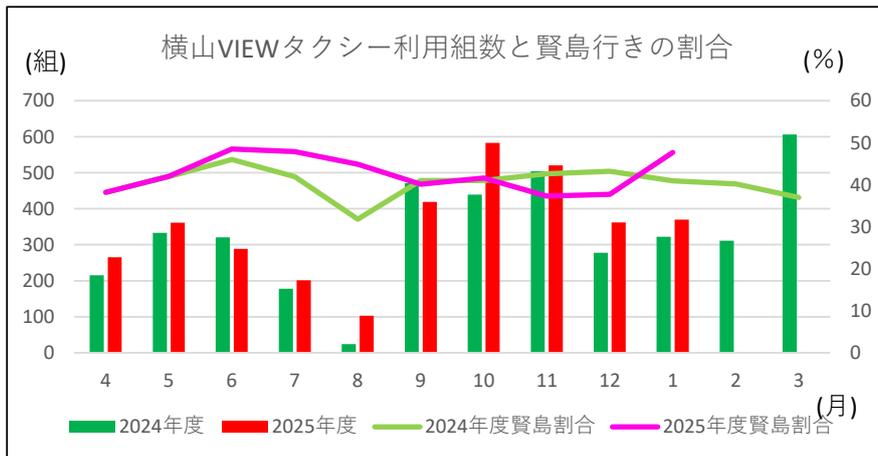
国別来所者数（2025年）

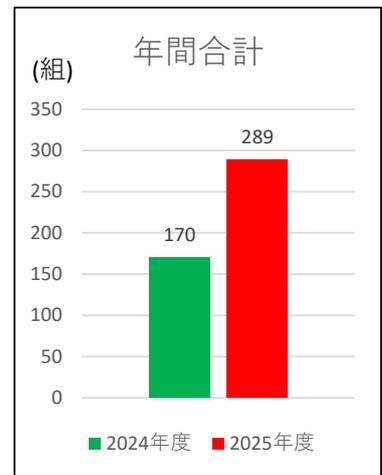
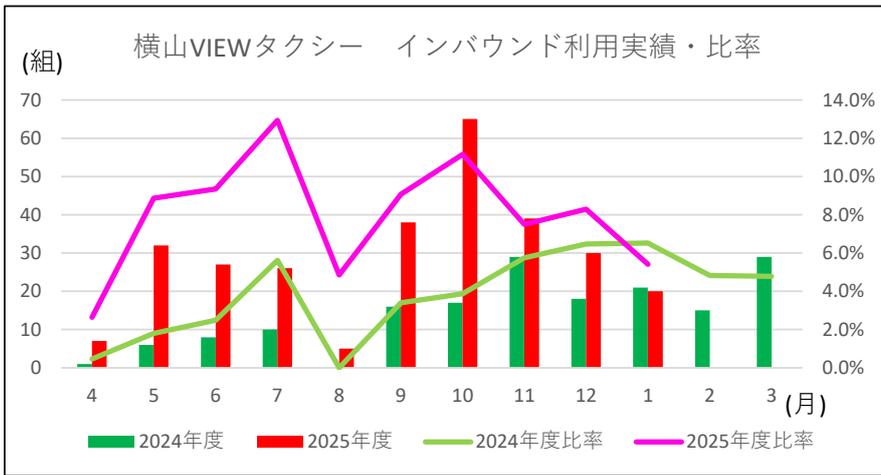


1月もインバウンドの減少が止まりませんでした。中国が昨年47人から1人、アメリカは55人から7人と急降下したことが原因です（台湾は昨年40人今年41人で変わらず）。中国は「台湾有事発言の影響」とも思われますが、それ以上にアメリカの減少が止まらず、その理由もはっきりしないことの方が大きく、このペースでいくと年度合計では昨年を上回るの厳しい状況です。

【横山VIEWタクシー】

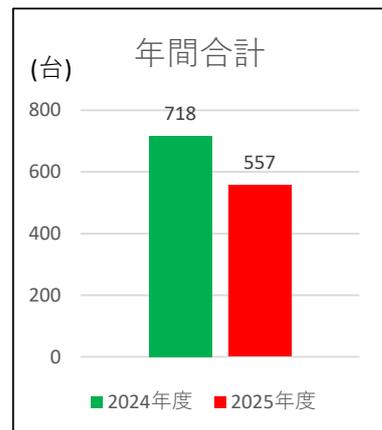
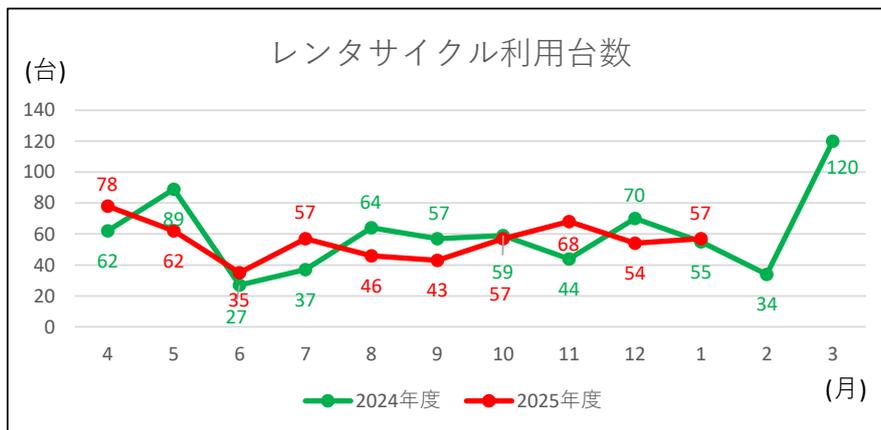
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(台)
2025年度	265	361	289	201	103	419	583	520	362	370	0	0	3473
2024年度	215	333	321	178	24	471	439	504	278	322	311	606	4002





1月も好調に推移し、昨年より48組のプラスでした。賢島行きが3ヶ月ぶりの40%越えで夏前の50%近くの記録に近い高い水準でした。遊覧船も利用率は下がってはいますが、実数は先月より増加しています。インバウンドは来所者数同様減少し、タクシー利用率も減少しました。

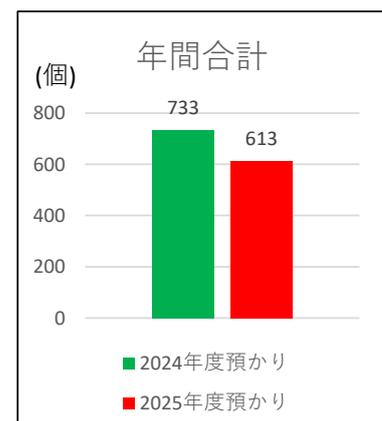
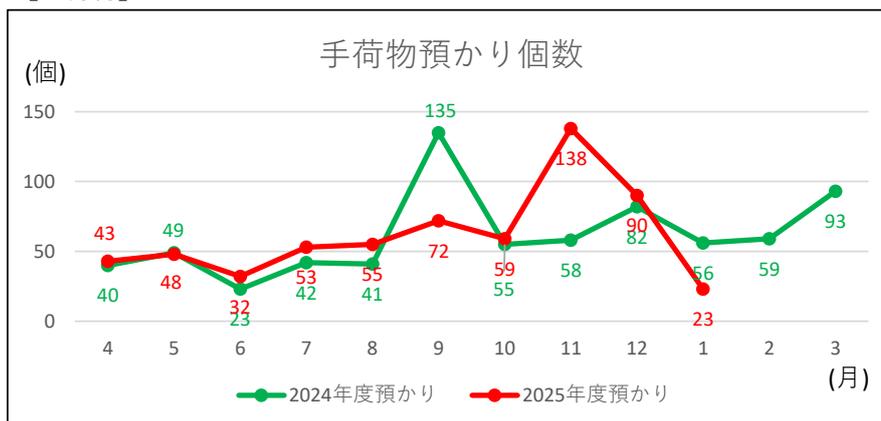
【レンタサイクル】



1月は昨年並みでした。今年度は前年と比較して月単位では増減が入れ替わりながらも全体としては同じ水準で推移しています。10月から近鉄のシェアサイクルがスタートしたことで、その影響により減少するものと予測しておりましたが、今のところはその影響はありません。今後の動向に注目しつつ、協会としては引き続き利用促進への取り組みを進めて参ります。

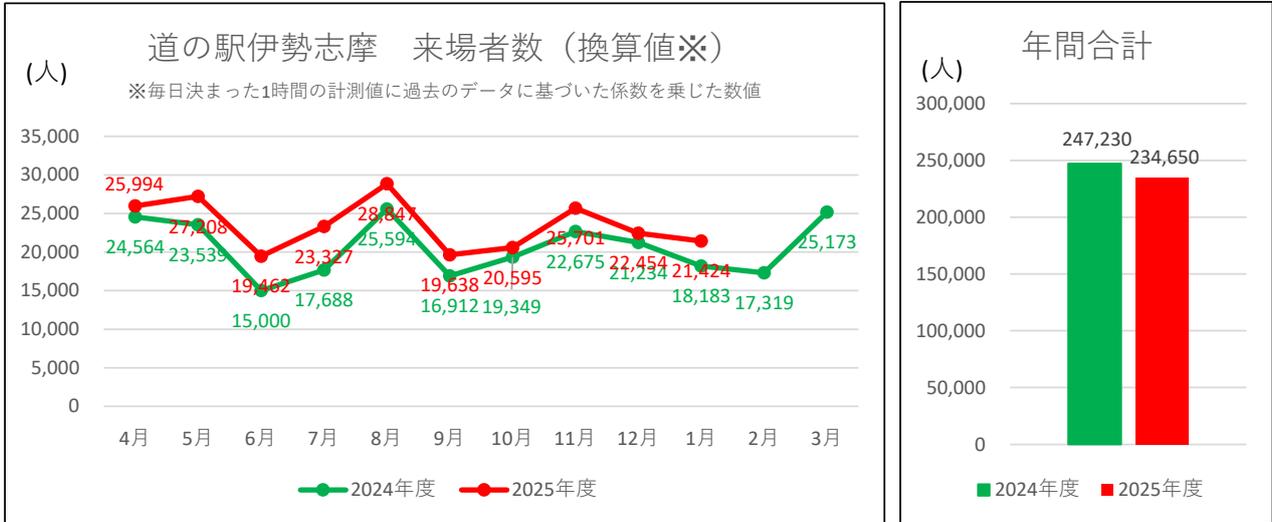
また、和具航路の自転車搭載が3/1から禁止になることで、船を利用した志摩町への案内ができなくなります。変化に富んだコースなのでおススメしなかったのですが、乗降時に危険を伴うためのやむを得ない措置で致し方ないことです。(因みにこれまで通り輪行(袋に入れての持ち込み)は可能です。)

【手荷物】



1月は大幅に落ち込み昨年の半分にも届きませんでした。しかしながら手荷物配送サービス（市内宿泊施設へ12：30までの預かりで17時頃までに配達。1,300円/個）は引き続き好調で、昨年の3個から7個に倍増しています。1/14より12：30までの「早便」に加え、14：30までの預かりで18～21時までの配達の「遅便」を新設しましたが、現在のところ実績は0です。引き続き動向を見守りたいと思います。

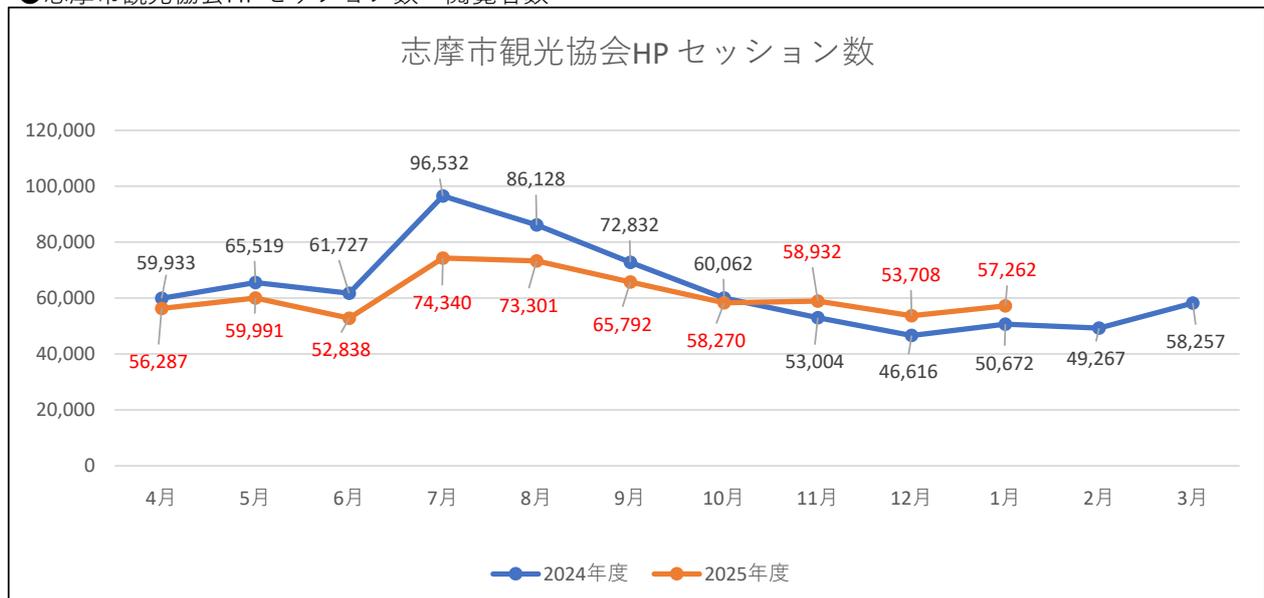
【道の駅伊勢志摩】

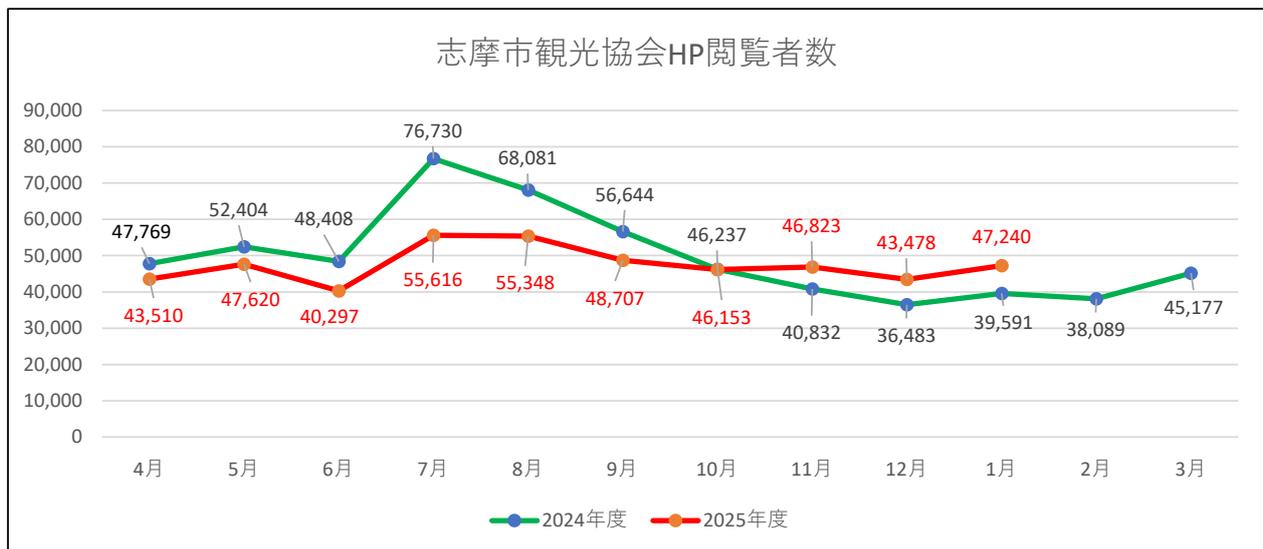


1月も引き続き好調で、昨年を3,000人以上上回りました。11/10から設置した「あおサ〜くじ」は1月末までで累計170回となっており、先日も岡山からわざわざこのために来られた方がいらっしゃいました。「あおサ〜」くじが来場者の誘引に貢献しているかどうかはまだわかりませんが、もともとある「道の駅記念きっぷ」というコレクターズアイテムを目的に来場されるケースは一定数ありますので、将来？「あおサ〜」の人氣が爆発して目的地化すれば、道の駅の他の物販にも好影響をもたらすことも夢ではありません。志摩への来訪者を増やし観光消費額をあげる上で公式キャラクターのPRは重要で、私たちも「あおサ〜」「しまこさん」のさらなる周知アップに努めていきます。

【ホームページ】

●志摩市観光協会HPセッション数・閲覧者数





●志摩市観光協会HP イベント紹介ページ表示回数ランキング（2026年1月）

1	しまのスイーツ・パンフェア開催！ 【阿児アリーナ】	11	「恋する森のショコラドーム」開催！ 【GLAMP DOME 伊勢賢島】
2	『七次元生徒会！修学旅行中！ in 志摩スペイン村』	12	2025年しまのスイーツ・パンフェア
3	『ミジュマルルーム』が登場！ 【NEMU RESORT】	13	「スプリング フィエスタ」開催！ 【志摩スペイン村】
4	和×洋のいちごのアフタヌーンティー2026 【都リゾート 志摩 ベイサイドテラス】	14	「おせち料理 和洋三段重」9/1より予約開始 【鳥羽国際ホテル&NEMU RESORT】
5	日頃の感謝を込めて！志摩市民限定のお 得なお試しプランが登場！ 【Villa Ryusei】	15	フラメンコ特別公演実施！ 【志摩スペイン村】
6	遊びごころを取り戻せ！ 【志摩スペイン村】	16	伊雑宮の御田植式 2025
7	乗用車コミコミパックキャンペ ーン！【伊勢湾フェリー】	17	第1回伊勢鳥羽志摩リアス式チャリ フェス
8	6日間限定ランチが登場！ 【EL CANTO del SHIMA】	18	三重の地酒飲み比べ無料キャン ペーン開催【KANPAI ISESHIMA】
9	おすすめランチ情報（2025年12月- 2026年2月）【志摩地中海村】	19	鳥羽河内ダムカレー1周年記念 スタンプラリー開催！
10	いちごアフタヌーンティー（平日限定） 【都リゾート 志摩 ベイサイドテラス】	20	みえのあそキャン25 【アソビュー！】

2026年1月の志摩市観光協会ホームページにおけるPV数は57,262回、閲覧者数は47,240名となりました。前年同月と比較すると、セッション数は13%増、閲覧者数は19.3%増と、引き続き高い水準で推移しています。

年末年始から続く旅行需要の影響もあり、志摩市の観光情報に対する関心が高く、多くの方に弊協会ホームページをご覧いただいた月となりました。

1月のイベント紹介ページでは、「しまのスイーツ・パンフェア開催！【阿児アリーナ】」が最も多く閲

覧されました。続いて、「『七次元生徒会！修学旅行中！in 志摩スペイン村』」、「『ミジュマルルーム』」が登場！【NEMU RESORT】」が上位にランクインしており、食を楽しめるイベントや、冬季でも快適に参加できる催しを中心に注目が集まり、県内外から幅広い閲覧が見られました。

これらの結果から、冬季ならではのイベントを通じて、志摩市の多様な魅力を効果的に発信できているとともに、県外からの来訪意欲の喚起にも一定の成果が見られるものと考えられます。

今後は、春の訪れに向けた観光素材や地域の取り組みを中心に、時期に即した情報発信を継続し、会員の皆さまと連携しながら、志摩市の魅力向上および誘客促進につなげてまいります。



観光地域づくり法人（DMO）について

～ 一般社団法人志摩市観光協会は登録3周年を迎えます ～

一般社団法人志摩市観光協会は、旧5町が合併して志摩市が誕生した2005年（平成17年）10月1日から半年後の2006年（平成18年）4月1日に、それまでの5つの観光協会が合併して発足しました。

観光協会は地域全体の観光資源を活かしたプロモーションやイベント開催、観光案内所運営を通じて「観光客の誘致」と「地域活性化」を担う実務型組織であり、観光情報の収集・発信や観光コンテンツ・施設整備、関係者の連携・調整、旅行商品の販売などを通じて地域の魅力向上と、観光による経済効果の最大化を目指してきました。

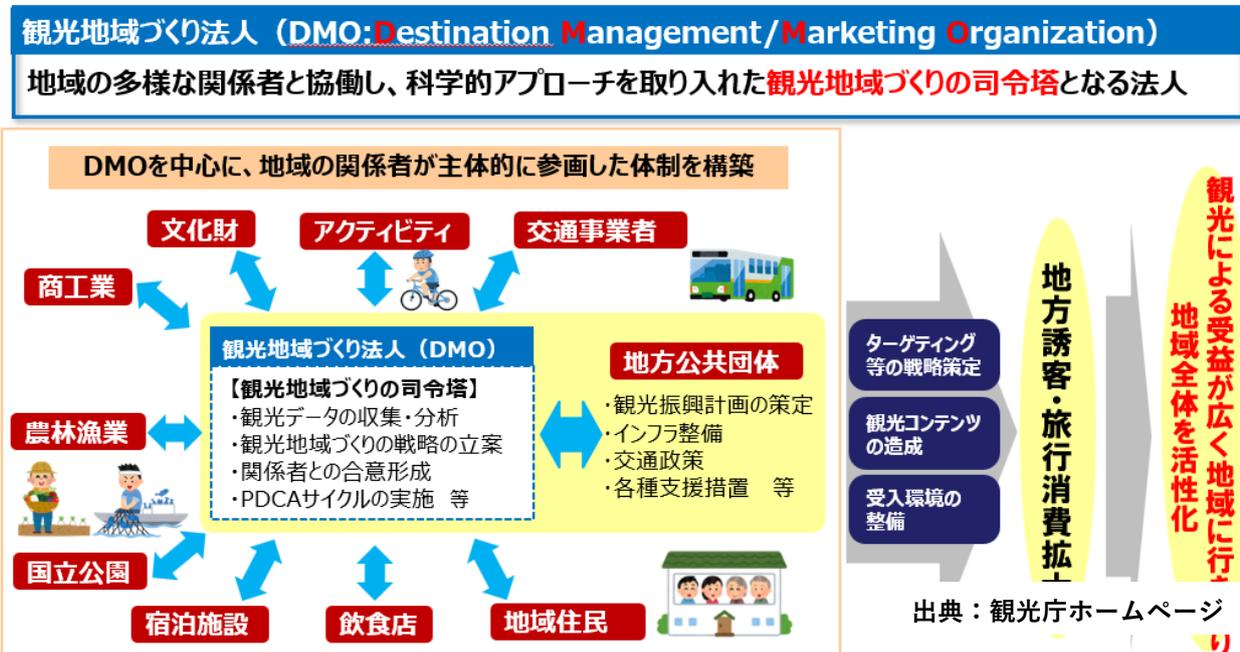
2017年（平成29年）には組織体制の強化、社会的信用の向上、迅速な意思決定を目的として一般社団法人に移行し、補助金依存からの脱却、自主財源の確保、DMOへの移行を見据えた経営力強化に舵を切り、案内所の各種サービス（おみやげ販売、レンタサイクル、手荷物預かりなど）など収益事業にも時の力を入れて参りました。

その後、従来の観光案内やイベント運営中心の組織から、データに基づく戦略策定（マーケティング）と地域一体となった観光経営（マネジメント）を行う「稼ぐ力」を持つ組織へと転換するためにDMOへの登録を目指し、2021年（令和3年）11月に「候補DMO」となり、翌年度の2023年（令和5年）3月に「地域DMO」に登録されました。

DMOとはDestination Management/Marketing Organizationの略称で、「観光地域づくり法人」のことを指します。地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定し、着実に遂行する機能を備えた法人です。地方誘客及び旅行消費拡大を持続可能な形で推進する上で、地域のさらなる魅力向上や受入環境整備など、「観光地域全体のマネジメント」の取組をDMOが主体となって行うこととされています。DMOは欧米の観光先進国を中心に発展してきましたが、2007年に世界観光機関「UNWTO」がその枠組みを定義したことで世界的に認知されるようになりました。

日本では、2014年に発足した第二次安倍晋三政権が掲げた「地方創生」の政策をきっかけに、DMOが注目を浴びるようになりました。ときの安倍首相は、日本全体の少子高齢化や人口減少が止まらない中、東京都やその周辺にばかり人口が集まり、地方の人口が減少している「東京一極集中」が進んでしまっている現状を問題視しました。そして、地方の人口減少に歯止めをかけて、日本全体の活力を上げることを目指して

「地方創生」を掲げました。こうした中、既に海外では一般的だった「DMO」に着目し、観光資源に精通した法人をマーケティングやマネジメントに生かして「地方創生」の実現につなげようと、観光庁が主導する形で「日本版DMO」という単語が使われるようになったのです。そして、2015年には「日本版DMO 候補法人登録制度」が創設されました。その後、世界水準のDMOの形成に向けて登録基準を厳格化し、2020年4月には「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドラインの改正」に伴い「登録DMO」に名称変更されました。



そもそも観光地域づくりは、登録DMOや地方自治体など、一つの組織だけの力では実現不可能です。当該の地方自治体や近隣の自治体はもちろん、複数の民間企業、商店会関係者、商工会議所、学校、地域住民ら、さまざまな相手と協力関係を築き、足並みをそろえる必要があります。

登録DMOには、観光地域づくりを一緒に担っていくこうした諸団体のパイプ役となり、包括的に合意の形成を目指していくことを求められています。

さらに登録DMOには、観光地域づくりのリーダーとして目指すべき道筋を示す役割も求められています。そのためには明確なコンセプトに基づいたマーケティング戦略を策定しなければならず、各種データを継続的に収集し、分析するのはもちろん、そこから得た正しいデータに基づいて明確なコンセプトを打ち出す必要があります。そのコンセプトを踏まえて戦略を策定し、さらに業績評価指標 (KPI) を設定し、Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Act (改善) の「PDCAサイクル」を確立していくことが求められています。

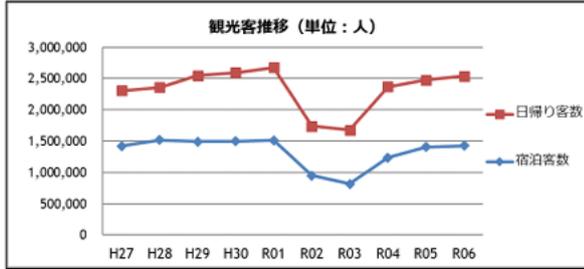
一口に観光地域づくりといっても、一企業や地方自治体だけで成し遂げられるほど簡単ではありません。地域住民や各種団体、近隣の自治体などと力を合わせて観光資源の魅力を発信していく必要があります。そのためにも、私たちがこうした諸団体のパイプ役となっていかなければならないのです。

関係諸団体が相乗効果を発揮できるよう、円滑に物事を進めるための仕組み作りも重要です。私たちがこれらの役割を包括的に担っていく存在になっていけるよう引き続き努力して参る所存です。今後とも会員の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

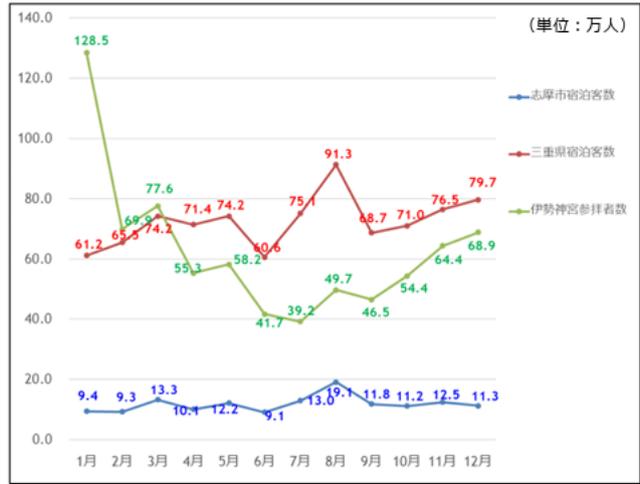
■【図1】志摩市入込客数

	R06	R05	前年比
	(人)	(人)	(%)
合計	3,959,041	3,883,829	101.9
日帰り客数	2,535,306	2,477,847	102.3
宿泊客数	1,423,735	1,405,982	101.3
うち外国人	33,322	33,241	100.2

■【図2】直近10年の観光客数の推移



■【図3】志摩市、三重県の宿泊客数及び伊勢神宮参拝者数(年間推移)



出典：令和6年志摩市観光統計

項目 【単位】	2022(R4)年度		2023(R5)年度		2024(R6)年度		2025(R7)年度		2026(R8)年度		2027(R9)年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
必須KPI												
①-1 旅行消費額 (総額) 【百万円】	全体	71,400	53,122	76,500	63,345	68,000	69,981	70,000		72,100		74,200
	インバウンド											
①-2 旅行消費額 (一人当たり単価) 【円】	全体		14,729	15,000	16,310	17,000	17,676	17,500		18,000		18,500
	インバウンド											
直近のKPI達成状況に対する分析	ラグジュアリーな宿泊施設の増加と周遊促進施策の効果により消費額単価は上昇しているものと捉えている。											
②延べ宿泊者数 【千人泊】	全体	1,300	1,236	1,300	1,405	1,500	1,423	1,550		1,600		1,600
	インバウンド		4		33		33	50		60		70
直近のKPI達成状況に対する分析	新型コロナウイルスの2類から5類への移行による旅行機運の高まりによるものと捉えられる。テーマパークのVチューバー効果も後押しとなった。											
③来訪者満足度 【%】	全体		97	98	98	98	98	98		98		98
	インバウンド											
直近のKPI達成状況に対する分析	ラグジュアリーな宿泊施設の増加や二次交通の施策による効果が満足度の向上に表れているものと捉えている。											
④リピーター率 【%】	全体	89	83	90	86	87	87	88		88		88
	インバウンド											
直近のKPI達成状況に対する分析	テーマパーク人気や新たな宿泊施設、横山展望台へのアクセス向上の周知拡大によるものと捉えている。											
その他の目標												
ふるさと納税事務手数料 【千円】	6,700	6,976	7,000	7,410	7,500	7,994	8,100		8,300		8,500	
直近のKPI達成状況に対する分析	志摩市への寄附額が過去最高となり、取扱件数が増加した。											
海女小屋体験施設「さとうみ庵」の売上【千円】		54,897	45,000	75,940	75,000	86,177	85,000		85,000		85,000	
直近のKPI達成状況に対する分析	国内団体旅行ツアーならびにインバウンドの増加(全体の38%)で過去最高の売上となった。											
地域限定旅行業事業手数料 【千円】	1,000	594	2,800	7,025	5,000	8,410	10,000		10,000		10,000	
直近のKPI達成状況に対する分析	スポーツイベントに加え、着地側での教育旅行の取扱いを行った。											
案内所窓口販売事業収入 【千円】	850	1,259	2,500	3,548	5,000	5,804	7,000		7,500		8,000	
直近のKPI達成状況に対する分析	レンタサイクル、手荷物預かりサービスに加え、お土産販売が順調に伸び収入増に寄与した。											

※上記の観光統計や指標については今後、志摩市観光協会の公式ホームページ内でも公開する予定です。

トピックス

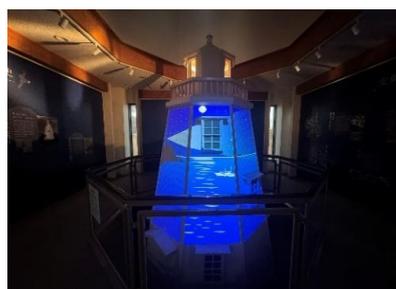
●安乗埼灯台資料館がリニューアルオープンしました

志摩市のシンボル安乗埼灯台に隣接する安乗埼灯台資料館が、2026年2月1日（土）にリニューアルオープンしました。館内では、灯台模型とプロジェクションマッピングを組み合わせた映像演出により、灯台の役割や安乗の歴史・文化を、子どもから大人まで楽しみながら学ぶことができます。

また、ワークショップやイベントにも活用できる地域とつながる開かれた展示空間となりました。さらに、安乗埼灯台や周辺スポットをひとつにつないだ「安乗岬園地全体マップ」も新たに作成され、海と灯台の景色を楽しみながら、安乗エリアをゆったり散策していただけます。



安乗埼灯台資料館の外観



プロジェクションマッピング

●燈の守り人スタンプラリー開催！

2026年2月1日（日）より灯台擬人化プロジェクト「燈の守り人」とのコラボ企画「燈の守り人スタンプラリー」が開催されています。本企画は、志摩市が誇る二基の参観灯台「大王埼灯台」と「安乗埼灯台」を巡り、キャラクターのスタンプを集めながら、志摩の景色や灯台の歴史を楽しんでいただく散策型の企画です。

各灯台には地域の文化や特産品を取り入れた「守り人」キャラクターが設定され、声優によるボイス設定も用意されているなど、灯台に親しみを持っていただける内容となっています。

スタンプは、大王埼灯台ミュージアムおよび安乗埼灯台資料館に設置されています。



大王埼灯台



安乗埼灯台



新会員ご紹介



今月も新しく入会いただいた会員様はございませんでした。

志摩市観光協会では新会員を絶賛募集中です！
会員のみなさまからもぜひご紹介いただきたく存じます。
ご連絡いただけましたら直ちに担当者が
ご連絡ご訪問させていただきます！
何卒よろしくお願い申し上げます。



志摩市観光協会ニュースレター Vol.14 2026年2月20日発行
編集・発行／一般社団法人志摩市観光協会
〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方1670-2 近鉄鵜方駅改札階
TEL：0599-46-1112 FAX：0599-43-8321 Mail：info@kanko-shima.com
※記事内容を無断で転載することを禁じます